



試験結果報告書



株式会社 新宮不二 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
支部長 山田 卓司
〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目20番3

依頼No.165218

支部長

報告日：平成28年 5 月 27日



品名	Lifetime (N5D-Woodlong-Eco) (Lot No. ——)	試料受付日	平成28年 4 月 25日
		試料採取日	平成 一 年 一 月 一 日
		試料採取場所	——
製造者	Valhalla Wood Preservatives Ltd.	試料数量	7 g
試験項目	成績	規 格	
		試 験 方 法	
ホルムアルデヒド放散量 (mg/L) 7日後	① 0.034 ② 0.032 平均 0.03	<p>JIS K 5601-4-1:2012「塗料成分試験方法— 第4部：塗膜からの放散成分分析— 第1節：ホルムアルデヒド放散量の求め方」 5. デシケータ法に準拠 依頼者の申し出により、以下の水の量を100mLで行った。 5.8.1 b) 結晶皿の水の量100mL 5.8.6 定量方法 a) 吸光度法による。 5.9 d) 試験条件：温度23±2℃、湿度(50±5)% 5.9 e) 測定機器：吸光度計、石英セル、光路長10mm 5.9 f) 空試験の値：0.0016Abs(吸光度) 5.9 g) その他の必要事項 混合割合：粉末製品:水=1:190(質量比) 希釈溶剤の有無及び希釈率：希釈なし 塗装回数：1回塗り(はけ塗り) 塗り付け量(希釈前の塗料換算量)： 240g/m² 試験板の種類：アルミニウム板 試験期間 平成28年 5 月 9 日～平成28年 5 月 17日</p>	

以 上



ノーウエスト研究所
 9938-67 Avenue
 Edmonton, Alberta
 T6E0P5
 Phone (403) 438-5522
 Fax (403) 430-0396

1992年6月31日

木材保護溶剤 (SW2000) について

ご送付頂きました溶剤の分析結果 (分析 NO.52484) をお知らせ申し上げます。
 分析結果から、s w2000 (ウッドロンゲ-エコ) で処理された木材に直接接触している土壌に汚染は生ぜず、又無害であることがわかります。これは、送付された、s w2000 で処理し、1年以上経過した杭の周囲の土壌を、生物学的分析試験にかけた結果、立証されました。
 本試験結果が貴社に有益な資料となれば幸いです。今後木材防護保持剤事業のますますのご発展をお祈り申し上げます。その他当研究所にてお役に立つことがあれば、お知らせ下さい。
 以上

J. Ashworth, PhD

J アッシュワース 博士

追伸--- もし引火点試験が必要であれば、当研究所で通常おこなっているクローズドカップテスト法試験 (\$ 41) が御座います。(貴社の溶剤は有機溶剤ではありませんので、埋め立て廃棄について法的規制がある 61 度 C 以下の引火点を持つ液体には、該当しないと思われまます。)

カナダ標準規格評議会認可評議会登録試験特別試験研究所

9938-67 Avenue
 Edmonton, AB
 T6E 0P5

ノーウエスト研究所

(403) 438-5522
 (403) 438-0396 fax

試験日 : 92年6月22
 日 10 : 50
 試験番号 : 3-52485

検体	1	2
	保護処理直後	1年から2年経過後
Microtox		
色彩	濃褐色	濃褐色
濁度	高	高
分離法	遠心	遠心
初期 ph	7.3	7.3
最終 ph	7.3	7.3
EC50 (5 分間)	>100% (無毒性)	>100% (無毒性)
95%	無該当	無該当
EC20 (5 分間)	>100% (無毒性)	>100% (無毒性)
95%	無該当	無該当
EC50 (15 分間)	>100% (無毒性)	>100% (無毒性)
95%	無該当	無該当
EC20 (15 分間)	>100% (無毒性)	>100% (無毒性)
95%	無該当	無該当
希釈テスト	無該当	無該当

* 注釈*

EC50= 15 度 C において、5 分或いは 15 分の所定時間、光学的暴露により 50%に濃縮した有効濃度
 EC20= 15 度 C において、5 分或いは 15 分の所定時間、光学的暴露により 20%に濃縮した有効濃度
 毒性レベル (下記表記法による)

<25%=非常に猛毒、25---50%=猛毒、51---75%=毒性を有す、76---100%=わずかに毒性を有す、>100%=毒性無し (無害)
 PRETESTD=元の検体を希釈した事前試験

成分安全データシート

注意：「ウッドロンダ-エコ木材防護剤」s w2000 の厳正な内容物については、企業秘密として、公開は致しておりません。
 下記の各項目試験データの対象物は、水に希釈前の粉末製品中、質量を 50%以下の 1つの内容物についての結果です。製品に配合されているその他の内容物は、全く無害か、警告表示義務の不必要とされる天然鉱物質と植物抽出物で構成されている。

<p>セクション 1-製品の特定及び用途</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 製品/物質：木材防護剤 s w2000 の少量構成物質 <p>製品用途：木材保護、ステイン、防護剤</p>	<p>セクション 4-可燃性及び爆発性データ</p> <p>引火点：無し 発火点：無し LEL：無該当 UEL：無該当 消化剤：無該当 特別消火手段：無該当か無し 異常時発火及び爆発被害：無し</p>
<p>セクション 2-有害性内容物</p> <p>OSHA PEL：該当無し ACGIH TLV(1979) : RAT. ORAL LD50:1480mg/m3 米国産業衛生専門家会議(1979) 無暴露被害濃度：RAT. ORAL LD50:1480mg/m3 その他の制限：無し</p>	<p>セクション 5-反応性データ</p> <p>安定性：安定 混合不適性：高酸化剤、高アルカリ 避適状態：異常高温 成分分解による害：高温酸化分解時に硫酸化物を生成可 成分重合による害：無し</p>
<p>セクション 3-物理特性データ</p> <p>沸点：摂氏 300 度にて分解 蒸気圧：0 蒸気比重：該当無し 溶解度：100ml の水に 57 g @ 1 5 8° 外観及び臭気：褐色粒状、軽いミント臭 比重：1.899-14°C/8°C ph：3.7 ボーメ比重：68.64 蒸散比：無該当</p>	<p>セクション 6-人体への有害性データ (水に溶かす以前の濃縮粉末)</p> <p>生体の一次吸収境界：吸入 (可)、皮膚 (可)、経口摂取 (可) 人体への害 (急性及び慢性) 吸入：気管、肺への刺激性、呼吸の困難 皮膚：皮膚への刺激性、特に目において顕著 経口摂取：胃腸への刺激性 発癌性：所見されず 暴露による一般的医学的所見 皮膚炎、喘息、結膜炎、胃及び消火器への炎症</p> <p>応急措置 流水で眼或いは皮膚を最低 15 分間洗浄し、吸入の場合は、きれいな空気を吸わせ、ショックがある場合は、暖かなもので包む。医師の診断をうける。</p>
<p>セクション 7-取り扱い及び使用上の注意</p>	
<p>粉末を撒いたり、こぼした場合：掃きとって再度容器に入れなおす。 廃棄方法：指定された埋め立て場所に廃棄するか、水溶液に低率のアルカリと混ぜて、pH を中性にし埋めることも、下水に流すことも可。 使用及び保管上の注意事項：手袋、安全眼鏡、マスクに仕事着で使用。乾燥した冷暗所にて保管。</p>	
<p>セクション 8-防止措置(労働衛生)</p>	
<p>呼吸保護具：煤塵マスク 換気：局所排気可 特別換気：不必要、強制換気：不必要</p>	<p>防護手袋：労働手袋 保護眼鏡：ゴーグル型保護眼鏡 衣服：仕事着</p>